

大山町議会議長 野口俊明様

大山町議会議員 大原広巳

第78回町村議会広報研修会報告書

1. 日時

平成25年7月29(月)～30日(火)

2. 研修地

東京都千代田区 砂防会館別館

3. 研修内容

- (1) わかりやすく、ふさわしい日本語
山田 貞雄氏 (国立国語研究所)
- (2) 広報紙面デザインの基礎知識
長澤 忠徳氏 (武蔵野美術大学教授)
- (3) 議会だよりの撮影方法と表現方法
川西 正幸氏 (日本写真家協会会員)
- (4) 全国の議会だよりチェック
芳野 政明氏 (広報・編集コンサルタント)

4. 研修結果

- (1) ①美しく、正しく、わかりやすい日本語を使用する。
②新聞のように、一覧性のある素早く把握できる見出しを使いたい。
③読者にとってわかりやすい、読みやすい表現を考える(見出しの的確さ、要約ができていのか、キャプションの工夫など)。
④漢字、送り仮名、仮名遣い、数字表記、記号などの使い方に注意をはかる。
- (2) ①見出しで内容を知らせる。
②キャプションで語る。
③色の使いすぎに注意する。
④ビジュアル情報は紙面の半分まで。
⑤大きな文字(書体)は、字間調整(スペーシング)を忘れずに。
⑥書体(フォント)の種類を使いすぎに注意。
- (3) カメラ撮影の基本的な注意点を聞いた。集合写真では、後ろから取らないなどいろいろと勉強になった。
- (4) 全国各地のいろいろな議会だよりを見比べて、大変参考になった。表紙のインパクトも大事である(ファーストインプレッション)。

5. まとめ

編集の作業の基礎知識が学べて、大変勉強になりました。まだまだこれから、一歩ずつ実施していかなければなりません。大山町議会だよりは全国でもトップレベルだということがわかりましたが、これにあぐらをかかずトップをねらって精進したいのです。ひとりでも多くの読者をふやすために。